

令和5年度（柏陽高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	教育公務員としての責任を自覚し、法令遵守意識の向上を図り、公務外非行や交通事故を未然に防止する。	○ 職員啓発資料等をもとに職場研修を実施し、教育公務員としての自覚を促し、自覚とモラルの向上、法令順守等について徹底した。 ○ 職員相互及び管理監督者とのコミュニケーションを大切にしながら職場環境づくりを進めた。
職場のハラスメント(パワハラ、セクハラ、マタハラ等)の防止	他者の人権を尊重し、良好な職場環境の維持・確保に努め、ハラスメントを防止する。	○ 職員啓発資料等を参考にし、ハラスメントに関する理解を深めるとともに 人権意識の向上を図った。
生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	生徒の人権を尊重し、セクハラやわいせつ行為の発生を未然に防止する。	○ 教育実習期間前にセクハラ防止研修を実施し、教育実習生オリエンテーションでも講話を行った。 ○ 生徒の人権についての職場研修を実施して意識啓発を行うとともに、ささいな問題でも指摘し合える職場環境づくりを進めた。 ○ 電子メール・SNSの適切な使用について職員間だけでなく、生徒に対しても意識啓発を行った。
体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重して指導にあたり、体罰、不適切指導の発生を未然に防止する。	○ 職員啓発資料等を参考にし、生徒の人権侵害に係わる不祥事防止を周知するとともに職員の意識の向上を図った。 ○ 生徒理解に基づく指導を徹底した。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	取組みの重点目標を「入学者選抜・成績処理業務の適切な処理」とし、実効性のある点検体制を再構築し、定めたマニュアルに基づき確実に業務を行う。	○ 職員全員で点検体制や業務マニュアルを再確認し、入選業務に関する職員の共通理解を徹底した。 ○ 過去の事故事案について、職員に周知し、事故の未然防止に努めた。 ○ 保存すべき文書の保管場所・保管期間について周知徹底し、適切に行なった。 ○ 気にかかることをそのままにせず、「報告・連絡・相談」を適切に行なった。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策(パスワードの設定、誤廃棄防止)	個人情報の適切な取扱いに努め、個人情報の流失を未然に防止する。	○ 情報セキュリティの点検や研修会を実施し、職員の意識の向上を図った。 ○ 個人情報の学校外持ち出しの際「個人情報校外持ち出し許可願」の提出とその後の直帰を厳守した。また、パスワードの設定等の漏洩防止対策の徹底を図った。
財務事務等の適正執行	公費は神奈川県財務規則、私費は私費会計基準に則った適正な会計事務を行う。	○ 公費・私費の適正管理に努め、相互チェック体制を徹底した。 ○ 私費会計基準に基づいた適正な会計処理を行った。

○ 令和5年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和6年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

不祥事防止については、事故が発生した直後には意識しているが、喉元過ぎれば熱さを忘れるといった状況になりがちである。そのため、過去の事例等を教訓とし、未然に防ぐという決意で取り組んできた。

○朝の打合せ掲示板や職員室内の掲示板等へ不祥事防止に関する通知や資料の掲載、及び全体の周知により意識啓発を行ってきた。

○定期的な不祥事防止会議により計画的に不祥事防止研修会を実施してきた。

○今年度も不祥事ゼロを達成したが、不祥事防止は繰り返し指導することが不可欠であると考えている。今後も様々な方法を考え取組んでいきたい。